



物盗られ妄想は、親しい人に向けられがち

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（32）】人生を盗られたとの訴えのよう

公開日：2018/02/23 (ソサエティ)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長）

「恥ずかしい話ですが、娘が私の留守
に家に入って、服やカーテンを盗ってい
くのです」

こう打ち明けてきたのは施設の近所に住
んでいる草本和江さん(仮名 90歳)でし
た。



傾聴する職員（里村氏提供）

「私は、主人を早くに亡くし、一人で
娘を育ててきました。娘に不自由な思いをさせないように、重労働も厭わず男の人
と混じって働いてきました。

それなのに、娘は私の物を盗るのです。昨夜も寝ないで、娘が家に来ないように
見張っていましたが、いつのまにか、寝間着を盗って行ったのです。

娘に電話をして返して欲しいというと、寝間着などは知らないと言ったので
す」

と、目を腫らして語っていました。

実は、草本さんは、認知症があり、娘さんが物を盗ると言われたのは、初めてで
はありません。このときは、

「家にいると娘が物を盗るので、施設に泊めてもらえないでしょうか。きっと、
私が施設に入ると娘は喜ぶでしょう。私は、あんな娘ですが可愛いのです」

と、宿泊を頼んできました。施設に泊まるにしても娘さんの承諾がいることを、草
本さんにお伝えしたところ、不承不承でしたが納得されました。

それから数日経ったある日、今度は娘さんから電話がありました。

「母が、毎晩電話をかけてきて盗ってもいない物を返せと迫るので、おちおち夜も眠れず、困っています」と、か細い声で言われました。

娘さんに「物を盗られたという人は、一番良く世話をしてくれる介護者を、犯人にすることが多いのですよ」と話しました。

物盗られ妄想の相談をいろいろ受けましたが、本当に一番親しい人ほど犯人にされてしまいがちなのです。

さらに、草本さんから施設入所の依頼があったことを伝えると、娘さんは安堵されたようすでした。

家族支援は、私たちの大切な役割です。

介護の悩みを聞く場合、まずは介護者を慰労し、一人で介護を抱えず一緒に考えていきましょう、と伝えるようにしています。

そして、まもなく草本さんは、施設に入所することになりました。

数日間は、娘から盗られることがなくなって良かった、と喜んでいた草本さんですが、今度は介護スタッフが部屋に入って物を盗っていくと、言われ始めたのです。

介護スタッフは、草本さんの話を否定せずに傾聴することにしました。草本さんは、物を盗られた怒りを話すだけ話すと、自分がいかに苦労して生きてきたかについて語られます。このようなことが、三日にあげずあったのです。

ところが、ある時を境に、草本さんの物が盗られたという訴えが少なくなりました。

それは、施設に新しい利用者が入居され、古くからいる利用者たちが、自分の悪口を言っていると思い込み、大きな声で口論になった事件があったからです。

その後も新しい利用者は、他の利用者たちになじめず、争いが絶えません。介護スタッフはどのように関われば落ち着かれるのかと、試行錯誤をしていました。

そんな介護スタッフを見ていた草本さんが、「あんた達を私のことで煩わせてはいけんからね」と言って、物がなくなったという訴えをしなくなったのです。

苦勞をされた草本さんは、苦勞をしている介護スタッフを見て、氣遣ってくれたのです。

これは、私たちにとっては想定していなかったことでした。

物盗られ妄想は、改善しないわけではありませんが、犯人や頻度が変わりながら継続することが多いのです。

消滅する時は、認知症が重度になって、こちらの声かけに反応しなくなって、自分の中に引きこもるようになった場合です。

そこまで認知症が進んだ利用者と接すると、物を盗られたと訴えていた頃の方が大変でしたが、生き生きしていたと懐かしく思ったことは何度もありました。

高齢になると時間がいっぱいできます。そこで、これまでの自分を振り返るようになるのです。介護の経験から、自分の人生を肯定している方では物盗られ妄想が出る方は少ないように感じます。

人生を肯定できず、やり直したい過去や、やり残した課題がある認知症の人は、その失った時や人や物を盗られたと訴えられているように、私には聞こえるのです。

(注)事例は個人が特定されないように倫理的配慮をしています。

<この連載は原則、水曜日に掲載します>

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [伊総選挙とドイツ連立の可否、3月4日に](#)
- > [自民との連立政権で、革新から保守に変わり弱体化](#)
- > [黒田日銀総裁続投 撃つ弾がない中、迫られる正常化](#)
- > [危機が深刻化する中東 「火薬庫」のシリア](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

トップへ

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINE LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

[FAQ](#)

編集長プロフィール

[利用規約](#)

利用案内

[プライバシーポリシー](#)

著作権について

[特定商取引法に基づく表示](#)

メーカーソクラ

[お問い合わせ](#)

お知らせ一覧

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved